北九州市PCB処理監視委員会だより

Vol 13　平成18年1月

若松区響灘地区で行われるＰＣＢ廃棄物処理事業が、安全かつ適正に行われるよう、北九州市は、施設の計画、建設、操業の各段階を通して監視を行う「北九州市ＰＣＢ処理監視委員会」を設置しています。

監視委員会の活動内容については、「監視委員会だより」を発行し、随時、市民の皆さんへお知らせします。

今回は、第１３回監視委員会の内容についてお伝えします。

◇　第１３回北九州市ＰＣＢ処理監視委員会

第１３回監視委員会を、１２月８日(木)日本環境安全事業㈱（以下：ＪＥＳＣＯ）北九州事業所において開催しました。

当日は、委員９名（３名欠席）のほか、ＪＥＳＣＯや環境省、北九州市などＰＣＢ処理事業に関連する行政機関が出席しました。また、１７名の方が傍聴しました。

さらに今回特別に、事業の全体的な評価をして頂くために、早稲田大学の永田教授、産業医大の伊規須教授にも出席頂きました。

◇内　　容

⑴　施設立入り

⑵　会議（議題）

①　第１２回監視委員会視察報告

②　操業開始１年の総括

③　第２期処理施設について

⑶　報告事項

豊田事業所におけるＰＣＢ蒸気漏洩事故

【施設立入り】

議事に入る前に、委員は監視委員会要綱に基づき、ＰＣＢ処理施設への立入りを行いました。

（立入りの様子：解体・分別室）

◎施設立入りに関する委員のコメント

- ポンプに取り付けてある圧力計やその他装置の計器の取り付け部分について、次に、建屋内のＰＣＢ管理区域の負圧管理の状態等を見させて頂き、安全であることが確認できた。各作業場も、きちんと整理整頓がされていた。
- 粗解体室での作業は、手作業が多いと思った。
- 作業場全体が多少暗いのではと感じた。立ち仕事で行っており、体の向きを変えたりすることがあるので、手元を明るくする必要があるのではないかと思った。
- 防護服を着用して行う作業について、もう少しスムーズに行えるような方策が必要だと思った。
- 仕事とはいえ、あれだけの防護服を着ての作業は大変だと思った。身体面とともに精神面での健康管理も十分にして頂きたいと思った。

【会議議事内容】

(1) 第１２回監視委員会視察報告

６月１６日・１７日に第１２回委員会として行ったＰＣＢ処理施設の視察について報告を行いました。

〈委員の感想〉

- 三菱化学の施設は、プラズマ方式で非常に簡潔にできており、スムーズに処理が行われていると感じた。
- 三菱化学の、プラズマ処理を視察し、技術力に感心させられると同時に、「９６８㌧のＰＣＢを自分のところで作った以上、これを安全に早く処理しなければ一企業としての責任が果たせない」との言葉に感銘を受けた。

・　ＪＥＳＣＯ豊田事業所では、コンパクトに処理できる施設だと思った。また、施設は、非常に狭く、すぐ隣に川や住居があるところで、きちんと行われていることに感心した。
・　豊田事業所はかなり敷地が狭く、また、処理施設と近隣の住宅がかなり迫っており、これらは今後豊田の監視委員の方々が監視していくことと思う。

（視察の詳細内容については、視察報告書又は監視委員会だより Vol.１２をご参照下さい）

(2) 操業開始１年の総括

・　操業開始１年の節目に、ＰＣＢ処理事業の監督官庁である環境省より、この１年間事業が安全かつ順調に行われた旨の報告がありました。
・　この環境省からの総括を踏まえて、ＪＥＳＣＯより、下記の報告がありました。

①　北九州ＰＣＢ廃棄物処理施設の処理状況について

平成１６年１２月から平成１７年１１月までの実績

トランス	コンデンサ
ＰＣＢ廃棄物の受入台数（台）	
２０２	５８８
ＰＣＢ廃棄物の処理台数(台)	
１７０	４９３
〔参考〕試運転期間中の受入及び処理台数	
２０	１３８

②　平成１７年度ＰＣＢ廃棄物処理施設の環境モニタリングについて

周辺環境や、排出源における各測定項目において、特に問題はありませんでした。

③　ＰＣＢ廃棄物処理事業の進捗状況について

平成１６年１２月の操業開始以降の、全般的な状況報告がこの場で行われました。

（施設全般）

・　１１月末までの施設見学者数３，９５９人。
・　操業開始後、処理可能量等に改善を要する課題があったため、３月から５月にかけて施設の改良工事を行い、以後順調に処理を行ってきた。
・　収集運搬に関しても、安全かつ順調に行われ、１０月末までに通算１１７回、１搬入日あたり１．３回の搬入が行われた。

（作業安全衛生）

・　粗解体室については、厚労省通知に基き、引続き呼吸用保護具等を用い、作業を行なっている。
・　作業員の血中ＰＣＢ及びダイオキシン類濃度の測定結果は問題なかった。
・　ヒヤリ・ハット事例の報告（現在のところ重要な問題に発展する項目なし）

④　北九州事業所内部技術評価結果について

・　ＰＣＢ廃棄物の安全･確実な処理を行い、事故の未然防止を図るため、定期的に内部技術評価を実施することとしています。今年は、９月下旬に、操業全般、品質、安全衛生など７８項目について評価が行われました。
・　この評価の結果を踏まえて、改善すべき点については、取組みの計画を策定し、現在実行に移しています。

(3) 第２期処理施設について

・　第１期施設に引続き、整備が行われる第２期施設では、高圧トランス・コンデンサに加えて、ＰＣＢ汚染物（安定器、汚泥など）の処理を行うための工程が必要になります。
・　高圧トランス・コンデンサの処理は、１期施設での処理方式を基本とすることで検討。
・　ＰＣＢ汚染物は、多様な性状のため、前処理なく一括して処理する必要があり、環境省とＪＥＳＣＯで処理方法の検討を重ねてきました。
・　最終的に採用される処理技術は、今後入札などで決定することになります。

◎ 豊田事業所におけるＰＣＢ蒸気漏洩事故

・　１１月２１日、ＪＥＳＣＯ豊田事業所でＰＣＢ蒸気漏洩事故が発生しました。
・　人的ミス等々が重なって起こった事故ですが詳細の事故原因は現在も確認中です。
・　今回の事故をもとに、北九州事業所では、設備の点検及び作業者の再教育を実施したとの報告がありました。

【討議内容】

委員会では以下のような質疑・応答がありました。

◎　操業開始１年の総括について

（質問）委員 ――――――――――――――

セーフティーネットで活性炭を使用しているが、取替えた活性炭の処理はどうしているのか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

取替えた活性炭は、２期施設での処理を考えており、現在は施設の中で保管している。

（質問）委員 ――――――――――――――

現段階で北九州市内にあるＰＣＢ廃棄物のうちどの位処理されたのか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

市内分のＰＣＢ廃棄物の受入状況について、トランス類は、５８９台中２２２台（うち、試運転期間中に２０台受入れ）を受入れ、コンデンサは、２，７０７台中７２６台（うち、試運転期間中に１３８台受入れ）を受入れており、計画的に処理を行っている。

（質問）委員 ――――――――――――――

運転会社とＪＥＳＣＯとの関係をお聞きしたい。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

ＪＥＳＣＯから運転会社に対して、運転については運転指示書、保全については保全計画の指示書を出している。また、故障や異常等の報告を受けた際は、ＪＥＳＣＯが修理業者へ指示し、修繕を行わせている。基本的に、責任はＪＥＳＣＯで負うこととしている。

（質問）委員長 ――――――――――――――

内部技術評価は９月に実施されているが、現在までに、この指摘事項に関する対応策は、基本的に実施されているか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

期限を決めて取組みの計画を出している。一部実施しているものもあるが、多くは１２月までに対策を決め、１月から実施する。一部、３月一杯まで時間がかかるものもある。

◎　第２期施設に関すること

（質問）委員 ――――――――――――――

第２期施設建設に関するスケジュールは。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

来年早々には発注公告を行い、施設の設置に向け動き出したい。最も順調にいった場合で、処理の開始は平成２０年度になると考えている。

（質問）委員 ――――――――――――――

第１期施設を操業しながら第２期施設の建設を行うのか。また、その際に、特別な配慮を行うことは検討しているのか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

限られた処理期間の中で、一刻も早くＰＣＢ廃棄物を処理したいという保管事業者の希望もあり、１期施設を動かしながら２期施設の建設を行う。そのための工夫についても技術提案を受けた中でしっかり検討していきたいと思う。

◎豊田事業所におけるＰＣＢ蒸気漏洩事故の件

（質問）委員 ――――――――――――――

事故の原因は、ねじが緩んだことによるものか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

直接的には、ねじが緩んだ事によるものであるが、至った原因については詳細を確認中である。

（質問）委員 ――――――――――――――

周辺住民への報告やメディアへの情報提供はどうしたのか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

メディアに対しては、事故当日の午前中に、公表を行った。当日及び翌日にかけて、テレビ・新聞等で報じられたが、報道の範囲はローカルであった。

（質問）委員 ――――――――――――――

北九州では、作業員の作業マニュアルの中にチェックして排気系統の切替えを行うことは入っているのか。

（回答）ＪＥＳＣＯ ――――――――――――

受入れの際に滲みを発見し、緊急の排気に切替える作業を行った経験がある。もちろんマニュアルにもあり、それに従って作業を行なっているが、今回の豊田での事故を受けて、１１月３０日にもう一度念を入れて、再教育を行ったところである。

北九州市PCB処理監視委員会委員

○学識経験者

氏 名	所属
浅岡 佐知夫	北九州市立大学国際環境工学部教授
是永 逸生	(社)日本技術士会九州支部副支部長
杉本 旭	北九州市立大学国際環境工学部教授
東 敏昭	産業医科大学産業生態科学研究所教授
吉永 耕二	九州工業大学工学部教授

○市民代表（公募による選出者）

氏 名	職業
嶋津 元彦	元団体職員
津田 潔	元会社員
成田 裕美子	自営業専従者
古野 和彦	団体職員
水城 秀信	大学院生

○市民代表（市民団体からの推薦者）

氏 名	推薦団体
稲永 勝	若松区自治総連合会
柿内 よし子	北九州市女性団体連絡会議

◆ＰＣＢ処理事業について

※ＰＣＢ処理事業に関するお問い合わせは、
日本環境安全事業㈱ 北九州事業所 TEL 093-752-1113 まで
〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町1-62-24

※ＰＣＢ処理事業に関する情報は、
日本環境安全事業㈱のホームページ(http://www.jesconet.co.jp/pcbtop.htm)
に掲載しています。

◆処理施設の見学について

※情報公開ルームは、ご自由に見学ができます。【開館時間：平日9:00～17:00】
（詳しい説明をご希望される方は、予めお電話（093-752-1113）でご予約下さい。）

◆ ＰＣＢ処理監視委員会について

※監視委員会は、市民の方の傍聴ができます。
委員会の開催は、市政だよりなどでお知らせします。

※ＰＣＢ処理監視委員会（会議資料、議事録など）や、
ＰＣＢ処理事業に関する情報は、市のホームページ
（ http://www.city.kitakyushu.jp/~k2602010/sesaku/pcb1.htm ）に掲載しています。

[発行]**北九州市ＰＣＢ処理監視委員会**

事務局：北九州市環境局環境経済部環境産業政策室
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
TEL 093-582-2630 FAX 093-582-2196